

第**57**期

# 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

旅でもっとつながる世界へ。  
好奇心でもっと感じる世界へ。



## 株主の皆さまへ

当第2四半期連結累計期間の業績

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第57期の第2四半期連結累計期間の事業活動をご報告申し上げます。

当社グループは、新規事業である訪日観光客向けのインバウンド事業を確立すべく、多くの海外企業との提携案件等の実現に向け活動するとともに、訪日外国人観光客向けアプリ『DiGJAPAN!』の改良等に積極的に取り組みました。

電子売上では、簡易型カーナビゲーション用アプリケーションソフト『マップルナビ』において、スマートフォン等の無料ナビアプリの影響や軽自動車の売上不振の影響が当初想定よりも大きく、売上高は16億71百万円（前年同期4億95百万円減）と大幅に減少しました。

一方で、市販出版物においては、第2四半期では最盛期である夏に書店店頭実売が想定よりも伸び悩む面はあったものの、第1四半期では当初想定通り返品が大幅に減少するとともに国内ガイドブックの改訂によって売上が増加したこともあり、第2四半期連結累計期間の売上高は37億82百万円（前年同期2億6百万円増）を確保しました。

このほか、特別注文品では地方自治体等からの「ことりっぴ小冊子」の受注が伸び、前年実績を上回りました。

以上の結果、当社グループの売上高合計は60億30百万円（前年同期2億42百万円減）となりました。



代表取締役社長

**黒田 茂夫**

損益面では、前連結会計年度におけるデータベースの減損処理に伴いその償却負担が減少した一方で、返品調整引当金繰入額の大幅増加、利益率の高い電子売上の売上減少の影響もあり、売上原価が増加したことに加え、インバウンド事業での先行投資の増加などの要因で、営業損失4億49百万円（前年同期は営業利益3百万円）、経常損失4億26百万円（前年同期は経常利益30百万円）を計上することになりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は4億43百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円）となりました。

通期の業績の見通し

上記のとおり、電子売上、市販出版物における売上高は当初予想に対して大幅に減少する結果となりました。

今後の業績につきましては、市販出版物における『まっぷるマガジンmini版』の売上が好調に推移しており、当初出版予定のなかったmini版の出版点数増加等の新刊商品出版による売上増加に加え、原価削減、経費削減を推し進めることで当初予想は下回るものの、利益を計上できるものと判断しております。

これらの状況を踏まえ、平成27年5月15日に発表した通期の業績予想を売上高134億80百万円（従来予想は138億90百万円）、営業利益3億50百万円（同5億円）、経常利益3億90百万円（同5億40百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益3億60百万円（同5億円）に変更いたしました。

当社グループは、旅と好奇心で日本を元気にすること、旅を通じて紛争のない平和で豊かな世界を実現することを目指して、社会に貢献してまいります。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



訪日外国人観光客向けアプリ『DiGJAPAN!』



売上好調の『まっぷるマガジンmini版』

## 『ことりっぷアプリ』Android版 リリース

この春iPhone版が誕生した『ことりっぷ』の無料コミュニティアプリに、Android版が加わりました。

『ことりっぷアプリ』は、書籍ではお伝えしきれない『ことりっぷ』目線の新スポット情報をいち早くお届けするほか、行きたいスポット情報をクリップし、自分だけのリストを作ることができる「クリップ機能」、旅先のとおきの瞬間や気に入ったスポットをユーザー同士で共有することのできる「写真投稿機能」などがあり、日常から旅先までいつでもどこでも『ことりっぷ』の世界観に浸ることができます。

『ことりっぷアプリ』は、ユーザー目線に寄り添った情報発信、サービスの展開を行ってまいります。



『ことりっぷ』目線の情報が盛りだくさん



クリップマークをタップするだけで、自分だけのリストが出来上がる「クリップ機能」

## DiGJAPAN! デザインリニューアル

今年1～9月に日本を訪れた外国人観光客は推計で1,448万人に達し、過去最高だった昨年一年間の1,341万人を上回りました（出典：日本政府観光局（JNTO））。

訪日外国人観光客の中には、ツアーではなく個人旅行で日本観光を楽しむ方も増えており、正確な情報収集が旅のキーポイントとなっております。

こうした最新のニーズに応えるため、当社の訪日外国人観光客向け無料観光アプリ『DiGJAPAN!』は、アプリのユーザーインターフェース（UI）デザインをリニューアルしました。新UIデザインでは、トップ画面から、各種メニューにワンタッチで移動できるようになっております。直観的な操作が可能となり、知りたい情報へのアクセスが向上しました。

『DiGJAPAN!』は平成27年10月現在で全国19エリアの主要観光地に対応しております。当社は今後も『DiGJAPAN!』をはじめとする訪日外国人観光客向けのインバウンドサービスを展開し、日本の魅力や日本旅行を楽しむためのビジネスを拡大してまいります。



エリア選択画面

エリアトップ画面

観光地の紹介画面

## 上半期の主な新刊商品

### 『たびまる』シリーズ30エリア一斉リニューアル

人気ガイドブックシリーズ『たびまる』を全30点一斉リニューアル出版しました。

今回のリニューアルでは、『たびまる』シリーズとして初めて、無料旅行アプリ『まっぷるリンク』がお使いいただけるようになりました。誌面と同じページを丸ごと見られる電子書籍機能、現在地や目的地の方向を示すことができる地図機能など、『まっぷるリンク』には旅をよりいっそう便利で楽しくする機能が詰まっています。

しおり代わりになる表紙など、ガイドブックとしての使いやすさにもこだわりました。

### まっぷるマガジンmini(ミニ)サイズ版のラインナップ拡大

ガイドブックの情報量はそのままにサイズを約70%縮小した『まっぷるマガジン』のmini版のラインナップに、海外版は『台北』、『ホノルル』、『ソウル』、さんぽ地図シリーズは『鎌倉』、『金沢』、『神戸』が加わりました。

mini版は、旅行バッグに入れやすく持ち運びもしやすいことから、街歩きに便利と好評をいただいております。

これらのmini版も『まっぷるリンク』に対応しております。



リニューアルした『たびまる』の表紙・裏表紙は観音開きになっており、しおりとしても活用可能



鎌倉の通常版(左)、鎌倉のmini版(右)



# 連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第56期	第57期第2四半期
	平成27年3月31日現在	平成27年9月30日現在
資産の部		
流動資産	17,480	15,690
固定資産	10,847	11,131
有形固定資産	6,889	6,821
無形固定資産	325	579
投資その他の資産	3,632	3,731
資産合計	28,328	26,822
負債の部		
流動負債	3,882	3,233
固定負債	2,467	2,442
負債合計	6,350	5,676
純資産の部		
株主資本	21,087	20,311
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	1,000	224
自己株式	△ 525	△ 525
その他の包括利益累計額	890	807
新株予約権	-	27
純資産合計	21,978	21,145
負債純資産合計	28,328	26,822

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第56期	第57期
	第2四半期累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	第2四半期累計 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	6,272	6,030
売上原価	4,353	4,204
返品調整引当金繰入差額	△ 110	128
売上総利益	2,030	1,696
販売費及び一般管理費	2,026	2,145
営業利益又は営業損失(△)	3	△ 449
営業外収益	48	45
営業外費用	21	23
経常利益又は経常損失(△)	30	△ 426
特別利益	2	11
特別損失	0	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	31	△ 416
法人税等合計	22	27
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△ 443

## 連結損益計算書のポイント

売上高は、市販出版物では夏場において書店店頭売が想定よりも伸び悩むことはあったものの、返品が大幅に減少するとともに、国内ガイドブックの改訂による売上増加の要因があり、前年同期を上回る売上を確保しました。一方で、電子売上では「マップルナビ」において、無料ナビアプリの影響等を受けて売上は大幅に減少しました。この結果、売上高は前年同期比3.9%減少の60億30百万円となりました。

損益面では前連結会計年度の減損処理に伴うデータベースの償却負担の減少があった一方で、返品調整引当金繰入額の増加、利益率の高い電子売上の売上減少による売上原価の増加に加え、インバウンド事業での先行投資の増加など販管費増加の要因があり、4億49百万円の営業損失となりました(前年同期は営業利益3百万円)。親会社株主に帰属する四半期純損失は、4億43百万円となりました(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円)。

財務諸表の詳細は当社ホームページをご覧ください。URL <http://www.mapple.co.jp/corporate/ir/>

## 連結貸借対照表のポイント

### 流動資産

現金及び預金が11億95百万円、受取手形及び売掛金が3億15百万円、商品及び製品が4億71百万円それぞれ減少し、流動資産は17億90百万円の減少となり、156億90百万円となりました。

### 固定資産

有形固定資産に大きな変動はなく、68百万円の減少の68億21百万円となりました。

無形固定資産はソフトウェアの1億67百万円の増加を主な要因として、2億53百万円増加の5億79百万円となりました。

投資その他の資産にも大きな変動はなく、98百万円増加の37億31百万円となりました。

以上から固定資産は2億83百万円増加し、111億31百万円となりました。

総資産は15億6百万円減少し、268億22百万円となりました。

### 負債

返品調整引当金が1億28百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が5億80百万円、流動負債その他が1億61百万円それぞれ減少したため、負債は6億73百万円減少となり、56億76百万円となりました。

### 純資産

親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に加え、剰余金の配当を実施したことによって利益剰余金は7億76百万円減少しました。また、第三者割当による新株予約権の発行及び有償ストックオプションの発行に伴い、新株予約権が27百万円増加しました。純資産は8億32百万円減少し、211億45百万円となりました。

### 自己資本比率

自己資本比率は1.1ポイント改善し78.7%となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第56期	第57期
	第2四半期累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	第2四半期累計 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,349	△ 285
投資活動による キャッシュ・フロー	352	△ 565
財務活動による キャッシュ・フロー	617	△ 344
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,319	△ 1,195
現金及び現金同等物の 期首残高	10,446	11,782
現金及び現金同等物の 四半期末残高	12,766	10,586

## 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億85百万円の支出となりました。主な要因は売上債権の減少額が3億15百万円、たな卸資産の減少額が3億6百万円あった一方で、税金等調整前四半期純損失4億16百万円、仕入債務の減少額5億80百万円があったことによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、5億65百万円の支出となりました。主な要因は無形固定資産の取得による支出3億38百万円、投資有価証券の取得による支出2億10百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、3億44百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払額3億32百万円によるものです。

現金及び現金同等物の残高は前期末から11億95百万円減少し、105億86百万円となりました。

# 会社情報 (平成27年9月30日現在)

## 会社概要

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)			
創業	昭和35年5月			
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地			
資本金	99億387万円			
事業所	本社	東京都千代田区	名古屋営業所	名古屋市千種区
	大阪支社	大阪市淀川区	福岡営業所	福岡市中央区
	制作本部	東京都江東区	東京商品センター	東京都足立区
	仙台営業所	仙台市若林区	大阪商品センター	大阪府摂津市
	横浜営業所	横浜市西区	埼玉製本センター	埼玉県加須市

## 役員

代表取締役社長	黒田 茂夫	常勤監査役	渡邊 裕
取締役	大野 真哉	監査役 (*2)	関 聡介
取締役	内田 次郎	監査役 (*2)	桑野 雄一郎
取締役	熊谷 隆司	*1 社外取締役	
取締役	清水 康史	*2 社外監査役	
取締役 (*1)	安藤 敬太郎		

## 関係会社

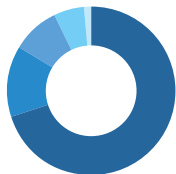
キャンバスマップル株式会社	東京都千代田区
株式会社マップル・オン	東京都千代田区
株式会社昭文社デジタルソリューション	千葉県市原市

# 株式情報 (平成27年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	20,007名

## 所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	70.2
金融機関	13.5
外国法人等	9.2
その他の法人	5.8
金融商品取引業者	1.3

## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日(中間配当を行う場合) ※なお、当期は中間配当を行っておりません。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711(通話料無料)
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.mapple.co.jp/">http://www.mapple.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475

### お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
黒田 敏夫	3,574	21.49
黒田 茂夫	1,699	10.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,158	6.96
MSCO CUSTOMER SECURITIES	764	4.59
昭文社社員持株会	670	4.03
株式会社三井住友銀行	347	2.08
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY-JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	245	1.47
株式会社ファウンダー・マップル	180	1.08
株式会社エムティーアイ	174	1.04
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	173	1.04

※持株比率は自己株式(679,814株)を控除して計算しております。

## 株式に関するマイナンバー制度のご案内

- 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となり、株主様から、お取引の証券会社等にマイナンバーをお届けいただく必要があります。
- 【マイナンバーのお届け出に関するお問い合わせ先】  
証券口座で株式を管理されている株主様は、お取引の証券会社にお問い合わせください。

※マイナンバーに関するご案内は、平成27年8月時点の情報をもとに作成しております。

### 表紙の写真

表紙右上の写真は、白樺湖周辺(長野県茅野市)  
(今回の表紙は、当社社員が撮影した写真を使用しました)